

おごじょパワーでまちは元気

できることから コツコツと やってみなきゃ はじまらない

「地球にやさしく、環境にやさしく、美しい環境は台所から」

私たち生活環境分科会メンバーは、今までもそれぞれ自主的に環境問題に取り組み、活動しています。

毎回の話し合いでも活発にいろいろな意見が出て、町民みんながこのメンバーのようだったら、すぐに「環境問題」は解決するはずだと思います。

町民一人ひとりの意識改革が一番の課題ではないかと考え、身近にできることから次のことを提言いたします。

提言 家庭で地域で身近なところから実践しよう！

〈私たちにできること〉

1 米のとぎ汁に代表される汚水を捨てない

- 米のとぎ汁でEM発酵液を作り、生ごみ発酵、肥料、排水溝洗浄に利用。
- 料理の残り汁等を捨てない。（つくり過ぎない工夫）
- フライパン、鍋などを洗う場合は、ぼろきれなどでふき取ってから洗う。
- 合成洗剤を使わない。

2 廃油を流さない

- オイルポットなどを使い何度も使う工夫。
- 資源ごみとしての再利用。
- 廃油せっけんづくり、肥料として利用。

3 意識改革

- 利便性だけを追わない。
- 大人が環境問題に興味をもって！（子供たちは学校で勉強している）
*環境を悪くしているのは大人たちです。

地球環境、温暖化問題が世界的な問題です。川の汚染の70%が家庭排水だと言われています。美しい地球を未来の子供たちに残すために私たちにできることはないか……、家庭排水に一番関わりのある私達主婦が「できること」から取り組んでいきたい。

私一人くらい……ではなく、一人ひとりが各家庭が気をつけることで、このさつま町から周辺の地域や町に「美しい環境を取り戻す」ための輪を広げていきたいと思います。

生活環境分科会活動に参加しよう

第4回目となる今回は、生活環境分科会から出された提言内容についてご紹介します。

男女共同参画アクションプラン
〈さつまおごじょ元氣会「提言」④〉

生活環境分科会

次回はいよいよ最終回。「行財政分科会」の提言内容についてご紹介いたします。